

## 【研修会報告】

- ◇ タイトル:コンサルテーションの理論と実践プロセスを考える
- ◇ 目的:コンサルテーションに必要な理論と実践スキルを習得し、専門看護師(CNS)や認定看護師(CN)の役割を強化する
- ◇ 日時 :1回目:2025年11月14日(金) 13時30分~14時30分  
2回目:2026年1月30日(金) 13時30分~15時00分

内容 :

○1回目:コンサルテーション講義を踏まえ、自身のコンサルテーションを内省し、今後のコンサルテーションの取り組みについて再考しました。

- ◇ 大森先生講義  
コンサルテーションとはなにか、コンサルテーションの種類やプロセスについて
- ◇ グループワーク  
講義を踏まえて CNS・CN のコンサルテーションのあり方をディスカッション

○2回目:事例を通してコンサルテーションの視点と考え方を学びました。

- ◇ 大森先生講義  
コンサルテーションの定義、基本特性、コンサルタントに必要な能力とプロセスコンサルテーションについて
- ◇ 事例検討  
慢性腎不全や多臓器疾患を持つ患者が意識レベルの変動によりせん妄、不穏状態となり、身体拘束に関する病棟看護師からのコンサルテーションの事例。  
患者紹介、現在の病状と入院生活の状況、治療法方向性、コンサルテーションの実際、困りごとを事例提供者が語り、大森先生のファシリテーションにより質問やディスカッションを繰り返しながら、事例の状況を整理しコンサルテーションを通しての気づきや学びを共有しました。

## 【意見・感想】

島根県立大学の大森真澄先生、島根県立中央病院専門看護師・認定看護師会メンバーが企画、実施しました。1回目:14名(CNS3名、CN11名) 2回目:10名(CNS2名、CN8名)が参加しました。

1回目の研修では、限られた時間の中で講義を踏まえて今後のコンサルテーションの姿勢について取り組みを見出すことができました。2回目の研修では、実際の事例を大森先生のファシリテーションによって検討していきました。CN やスタッフの立ち位置、コンサルテーションの核となるものを学ぶことができました。参加者はスタッフの成長に気づき、コンサルタントの関わりが意味あることだったと振り返ることができました。

参加者からは、コンサルテーションを行う上でのコンサルティとの関わり方を見直す機会になりコンサルティや病棟のチームの力を引き出せるように学んだ知識を活用していきたいと、前向きな言葉が多く聞かれました。

【研修の様子】

<1回目>



<2回目>

